

県民の声を突きつけ、計画の白紙撤回を求める

4病院再編構想 ストップ! 村井知事と厳しく対峙



4病院再編構想 ストップ!

ふなやま由美県議の一般質問 (12/7)

ふなやま県議

県議会議員選挙は4病院再編構想が最大の争点であり、移転再編をこのまま進めるべきでなく、声を聞いて立ち止まってほしいという県民の願いにまっすぐ向き合うべきと思うがどうか。

■知事 今回の病院再編が地域医療の課題解決に大きく寄与するものと考えていることから、県民に対する説明を丁寧に行うとともに、実現に向けて取り組む。

ふなやま県議

日赤病院と東北労災病院は仙台市で救急搬送される患者の約1割を受け入れている。仙台市消防局の報告では救急搬送困難事例は、異常な酷暑だった今年8月の救急搬送困難事例は678人にのぼる。再編でなお一層、救急車を呼んでも搬送先が見つからない事態を生んでしまうのではないかと。

■保健福祉部長 病院の集約・拠点化により医療圏全体で救急搬送困難事例にも適切に対応できる。

ふなやま県議

日赤病院は年間約800件の分娩を受け入れる産科セミアープンシステムの中心施設であり、周産期医療システム全体に及ぼす影響は計り知れない。仙台市内でお産を受け入れる病院をさらに少なくし「お産難民」を生み出すべきではないが、どうか。

■保健福祉部長 移転後の周産期医療提供体制における大きな影響はないと考える。

ふなやま県議

日赤病院や労災病院の大切な宝の病院を移転しないほしいと多くの市民が署名に願いを託し、何度も陳情・要望活動を行ってきた。医療は命を守ると同時に、地域社会を構成する大切な資源として住民とともにあるものと考えて認識を伺う。

■保健福祉部長 病院再編の必要性について地域説明会で丁寧に説明していく。

ふなやま県議

県立がんセンターは原点到立ち返り、県が責任をもって運営し「都道府県がん診療連携拠点病院」として、がん医療を後退させないことを強く求める。

■保健福祉部長 県全体のがん医療の水準が確保できる体制づくりを見据え、引き続き協議を進める。

ふなやま県議

精神医療センターではチームで児童・思春期精神科医療を展開しており、富谷市への移転により「今いる子どもたちの行き場がなくなってしまうことは一番困る」との現場からの率直な声があるが、どうか。

■保健福祉部長 他の医療機関との役割分担のもとで、児童思春期病床を整備していく。

ふなやま県議

障害当事者の声を聴かずに移転ありきで構想に突き進むことは、障害者の権利に関する条約の理念に反し、障害者の平等や幸福追求権、受療権

を脅かす人権侵害になると思うが、いかがか。

■保健福祉部長 障害者の権利に関する条約に基づき、その考えに沿った対応を行っている。

ふなやま県議

仙南医療圏では周産期医療の不足が深刻だ。医師がいなくて休止している県南中核病院の産科を早期に復活できるような医師体制を確保すること、また富谷市や黒川地域では、公立黒川病院の救急医療体制を強化すべき。

■保健福祉部長 産科医の確保は関係自治体からも要望されている。医師確保に努める。公立黒川病院とは機能分担・連携を通じて急性期から在宅まで切れ目のない医療供給体制を目指す。

ふなやま県議

精神医療センターの富谷市移転構想に関して、県は名取市にサテライトを作る方針を明らかにした。8月31日に審

議会に民間公募案を提案して、わずか3か月余りで、あまりにも場当たり的な対応だ。本院、分院二つにわけて、経営的にも人員確保の面でも、やっていけると思っているのか。

■知事 精神医療センター、関係者、専門家のご指導をいただきスキームをつくりあげたい。財政的な負担をどうするのかがよく慎重に考えていきたい。

ふなやま県議

医師体制が少ない中でとても、サテライトでは機能を果たせない。精神医療センターの建て替えについては、名取市内には2か所の候補地がある。精神医療センターは名取市で建て替えをまっすぐ進めるべき。

ふなやま県議

新型コロナウイルス対応で民間病院と連携し、県民の命を守ってきた公立病院や公的病院を、無理やり病床削減や統廃合を進めるべきではない。

その他の質問内容

○マイナンバー問題と来年、秋の健康保険証廃止をやめるよう国に求めよ。

○少子化問題解決のための提案と青年・子育て支援充実

- 大学・短大・専門学校、国公私立全ての高等教育は直ちに入学金ゼロ、授業料半額、給付型奨学金の抜本的な拡充を国に求めよ
- 県独自の奨学金返還支援制度の拡充と返還不要の奨学金制度の創設、県立大学の入学金、授業料無償化
- 子ども医療費は所得制限撤廃と県の対象年齢を18歳まで引き上げること、県内すべての子どもたちの学校給食無償化を

○物価高騰から暮らしを守る提案

- 過去最高の利益をあげる東北電力に対し、電気代を引き下げて、利益は利用者に戻元するよう要請すべき
- 福祉灯油や電気代補助の支援の予算の増額を



インターネットでも視聴下さい
<https://miyagi-pref.stream.jfit.co.jp>



日本共産党
県議団ニュース

速報版

2023年12月 第64号

発行：日本共産党宮城県議会議員団
(控室) TEL 022(211)3523
FAX 022(268)6093
E-mail: info@jcpmk.jp